2027年3月期 第2四半期決算説明資料

KURODA GROUP Co., Ltd.

黒田グループ株式会社

2026年11月13日

©黒田グループ株式会社　当資料の無断転載・無断利用を禁じます。

決算ハイライト

2027年3月期 中間期 決算概要

- 前年同期比で増収増益
- 生成AI普及に伴うデータセンターでの旺盛な需要により、製造・商社の両事業で関連部材の販売が好調
- 現時点で部品需給のひっ迫や、中国のレアアース輸出規制による業績への大きな影響はなし

2027年3月期 業績/配当予想

- 当期の通期業績予想を上方修正

  当期中間期の実績が期初予想を大きく上回り、足元業況は下期も概ね継続する見通し
- 配当予想は変更なし

©黒田グループ株式会社　当資料の無断転載・無断利用を禁じます。

目次

1.　2027年3月期 中間期決算概要

1-1　2027年3月期　中間期決算実績（IFRS）
1-2　対前年同期 営業利益増減要因
1-3　連結財政状態 / 連結キャッシュフロー
1-4　【セグメント別 業績】製造事業
1-5　【セグメント別 業績】商社事業

2.　2027年3月期 業績予想

2-1　2027年3月期 業績予想
2-2　対前年度 営業利益増減要因

Appendix

四半期毎売上収益・営業利益推移（連結）
四半期毎売上収益・営業利益推移（事業別）

©黒田グループ株式会社　当資料の無断転載・無断利用を禁じます。

1.　2027年3月期　中間期決算概要

©黒田グループ株式会社　当資料の無断転載・無断利用を禁じます。

1-1　2027年3月期　中間期決算実績（IFRS）

単位：億円	2026/3期 1H	**2027/3期 1H**	前年同期比
売上収益	595	**705**	+18.5%
営業利益 **（%）**	29 (4.8%)	**43** **(6.2%)**	+50.8% (+1.4pp)
親会社の所有者に帰属する中間利益	12	**24**	+107.1%
自己資本比率	42.0% (2026/3期末)	**42.1%**	+0.1pp
フリーキャッシュフロー	22	**▲32**	▲55億円

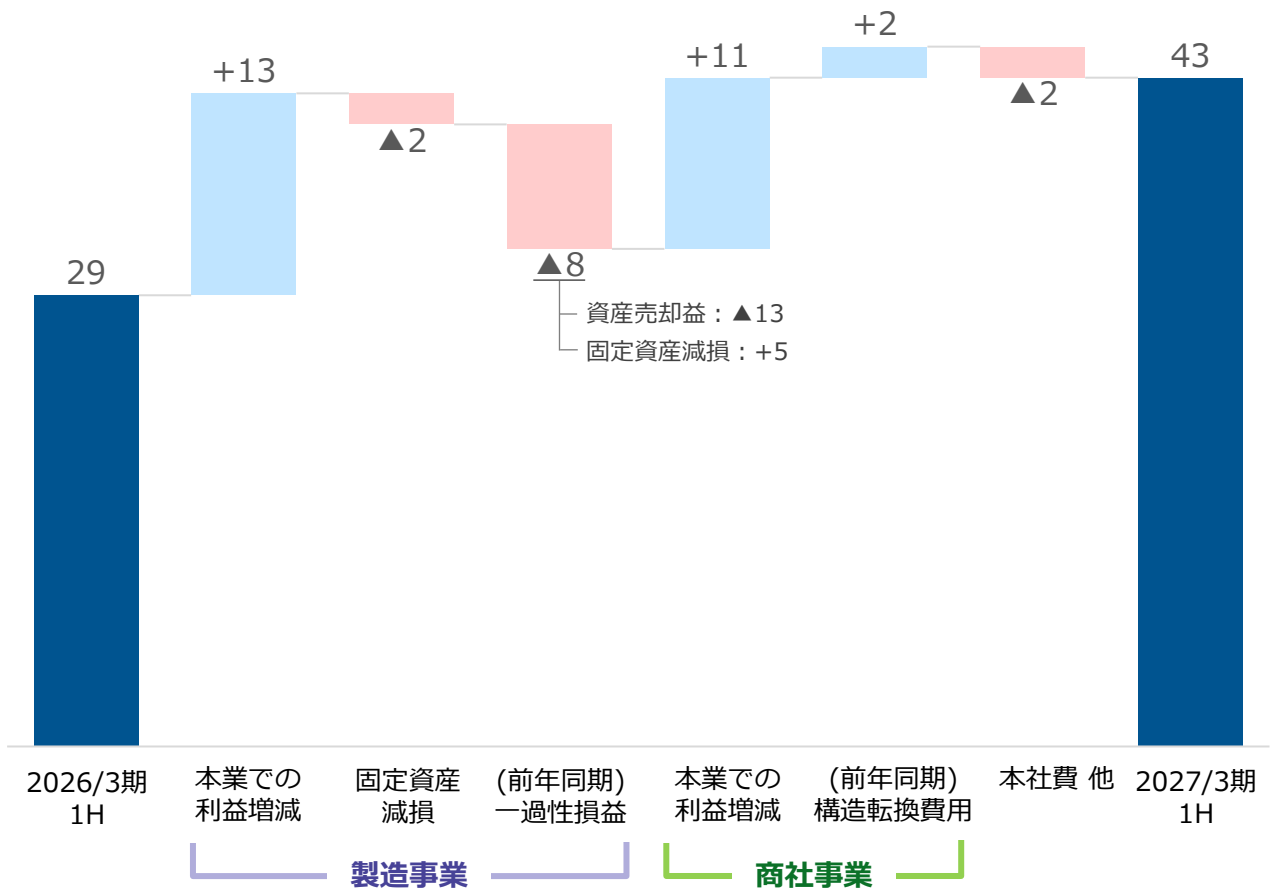
- 売上収益は前年同期比で増収。
- 営業利益は前年同期比14億円の増益。製造事業は前期計上した一過性増益要因が剥落したものの増益。商社事業も主にデータセンター周辺や半導体装置の各関連部材が好調の中増益。
- 中間利益も営業利益の伸長に伴い、前年同期比で増益。
- フリーキャッシュフローは、運転資本の増加(前期での営業債権回収の前倒し)により減少。

©黒田グループ株式会社　当資料の無断転載・無断利用を禁じます。

1-2　対前年同期 営業利益増減要因

営業利益変動要因

（億円）



概況

グループ全体の営業利益は14億円増益の43億円。

（製造事業）

- 生成AIの普及に伴うデータセンター需要の増加に伴い、HDD向け部品及び設備が好調に推移。
- 設備関連子会社で2億円の固定資産減損を計上。
- 前年同期に13億円の不動産売却益、および5億円の固定資産減損を計上。

（商社事業）

- 主にデータセンター周辺、半導体装置関連の商材が好調。
- 前年同期は一過性構造転換費用2億円を計上。

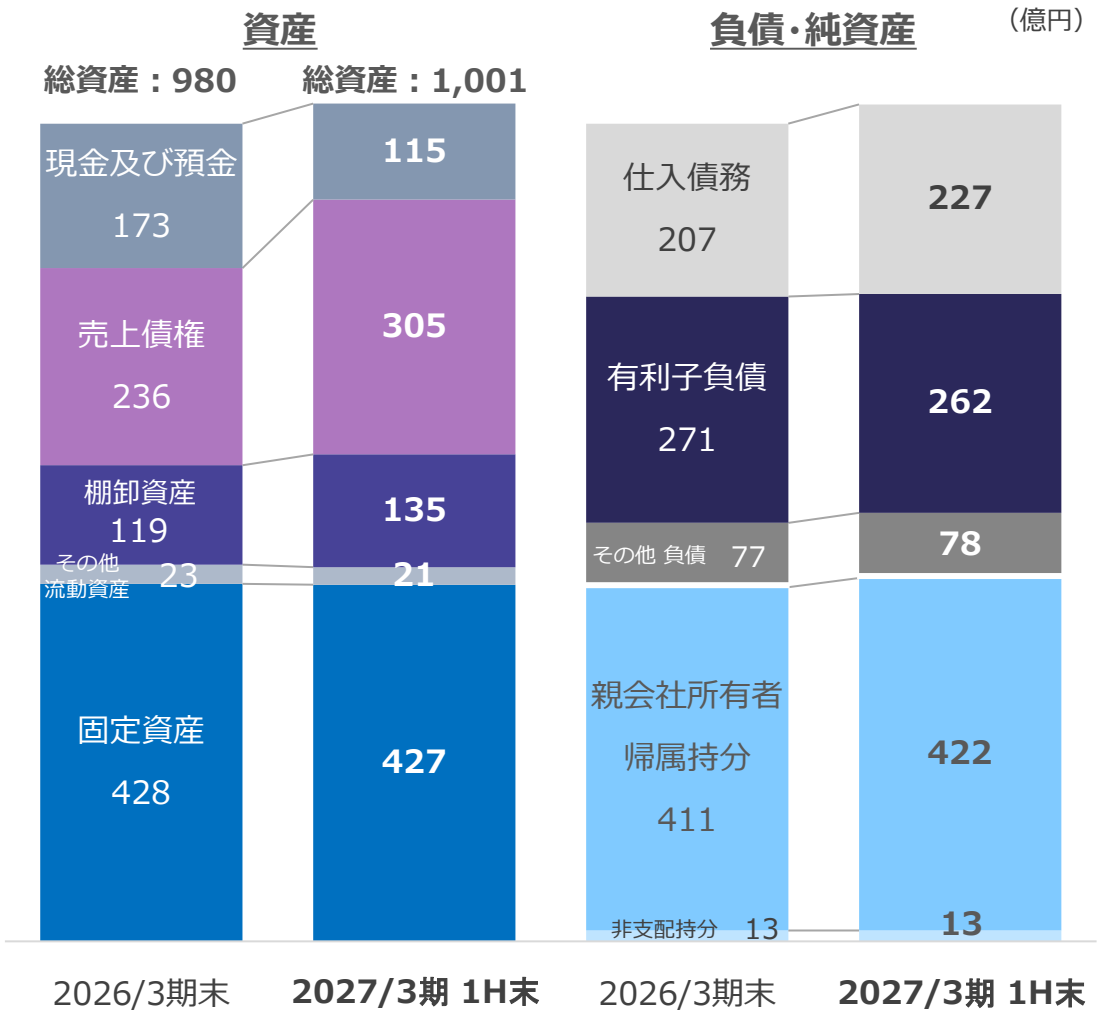
（本社費 他）

- 前年同期比で本社費が2億円増加。

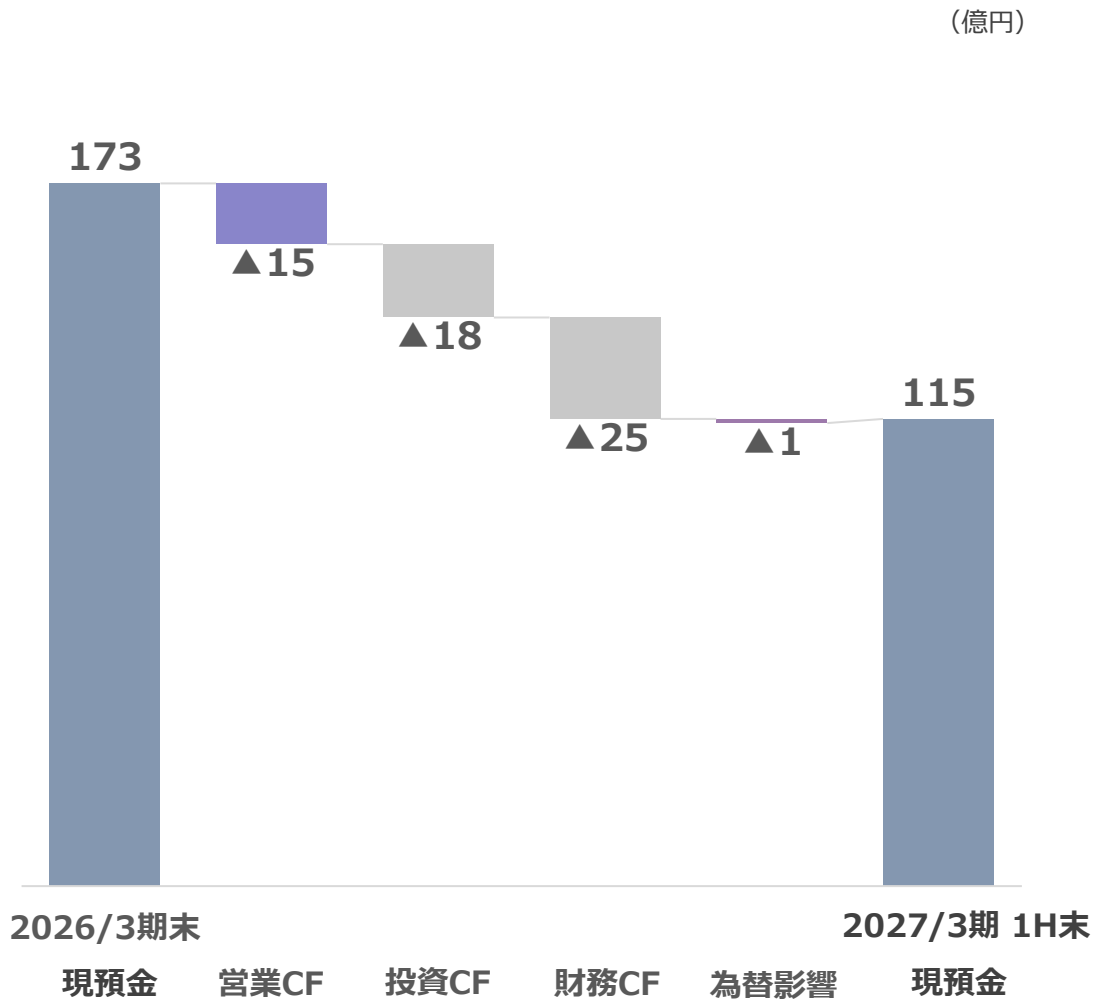
©黒田グループ株式会社　当資料の無断転載・無断利用を禁じます。

1-3　連結財政状態 / 連結キャッシュフロー

連結財政状態



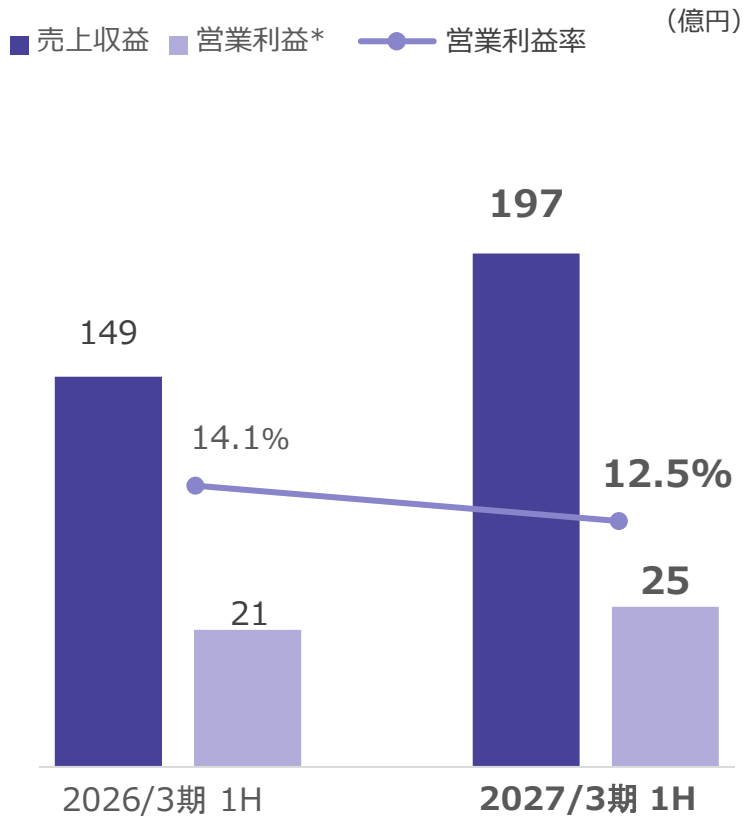
連結キャッシュフロー



©黒田グループ株式会社　当資料の無断転載・無断利用を禁じます。

1-4 【セグメント別 業績】製造事業

業績推移



*グループ共通損益は含まず

事業別概況

液晶生産材

- 配向膜印刷版は、主に中国市場での低迷などにより減収。今期中の中国での生産開始に向け準備中。
- 自動化設備は、データセンター向けHDD用各種自動化設備が増収。

電設資材

- 各種資材の需要が底堅く増収。新製品をはじめとする販売強化等が奏功。
- 今期は前年同期に計上した不動産売却益13億円が剥落。

HDD部品

- 生成AIの普及に伴うデータセンター向けHDDの需要が旺盛、各種部品の売上伸長により増収。
- フィルター事業での中国からタイへの製造集約は完了。

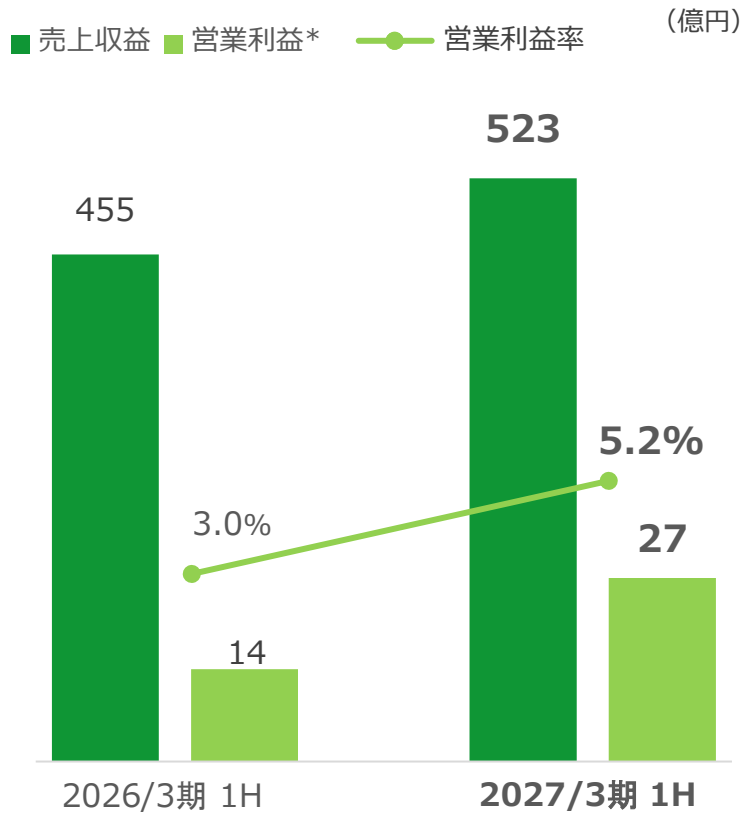
その他

- 回路設計・受託開発事業の売上は概ね前年並み。
- アルミダイカスト事業、自動車用樹脂成形金型事業は共に増収。
- 設備関連子会社で2億円の固定資産減損を計上。前年同期には自動車樹脂成形部品事業の固定資産5億円の減損を計上していた。

©黒田グループ株式会社 当資料の無断転載・無断利用を禁じます。

1-5　【セグメント別 業績】商社事業

業績推移



*グループ共通損益は含まず

事業別概況

車載

- 日本国内における自動車関連電子部品の売上伸長により増収。
- 中国によるレアアース輸出規制強化や半導体等の部材ひっ迫の影響は現時点で業績への大きな影響はなし。引き続き動向を注視する。

国内/海外地域

- 国内における生成AIの普及に伴うデータセンター関連の周辺部材や、半導体装置関連部材、東南アジアでの各種部材売上増加に伴い増収。
- 今期は、前年同期に計上していた2億円の構造転換費用が無く、構造転換による収益性が改善した上、増収や製品モデルミックスの改善により前年同期比増益。

©黒田グループ株式会社　当資料の無断転載・無断利用を禁じます。

2.　2027年3月期 業績予想

©黒田グループ株式会社　当資料の無断転載・無断利用を禁じます。

2-1　2027年3月期 業績予想

単位：億円		2026/3期 実績	2027/3期 予想		増減	
			前回予想	今回予想	前年比	前回予想比
売上収益		1,228	1,250	**1,420**	+15.6%	+13.6%
営業利益 **(%)**		65 (5.3%)	70 (5.6%)	**88** **(6.2%)**	+34.6% (+0.9pp)	+25.7% (+0.6pp)
親会社の所有者に帰属する当期利益		35	41	**54**	+53.4%	+31.7%
自己資本比率		42.0%	44.1%	**44.2%**	+2.2pp	+0.1pp
ROE		8.9%	10.0%	**12.6%**	+3.7pp	+2.6pp
ROIC		6.4%	7.7%	**9.5%**	+3.1pp	+1.8pp
一株当たり配当金	**中間期**	30円	31円	**31円**	+2円 （年間合計）	±0円 （年間合計）
	期末	31円	32円	**32円**		

- 中間期業績および最新の下期業績動向等を踏まえ、当期業績予想を上方修正。生成AIの普及によるデータセンター関連等各種部材の生産・販売増加などにより、製造・商社両事業の売上収益・利益ともに伸長。
- 一株当たりの中間配当は従来予想通り31円で決定。期末配当も従来の予想通り32円の予定。

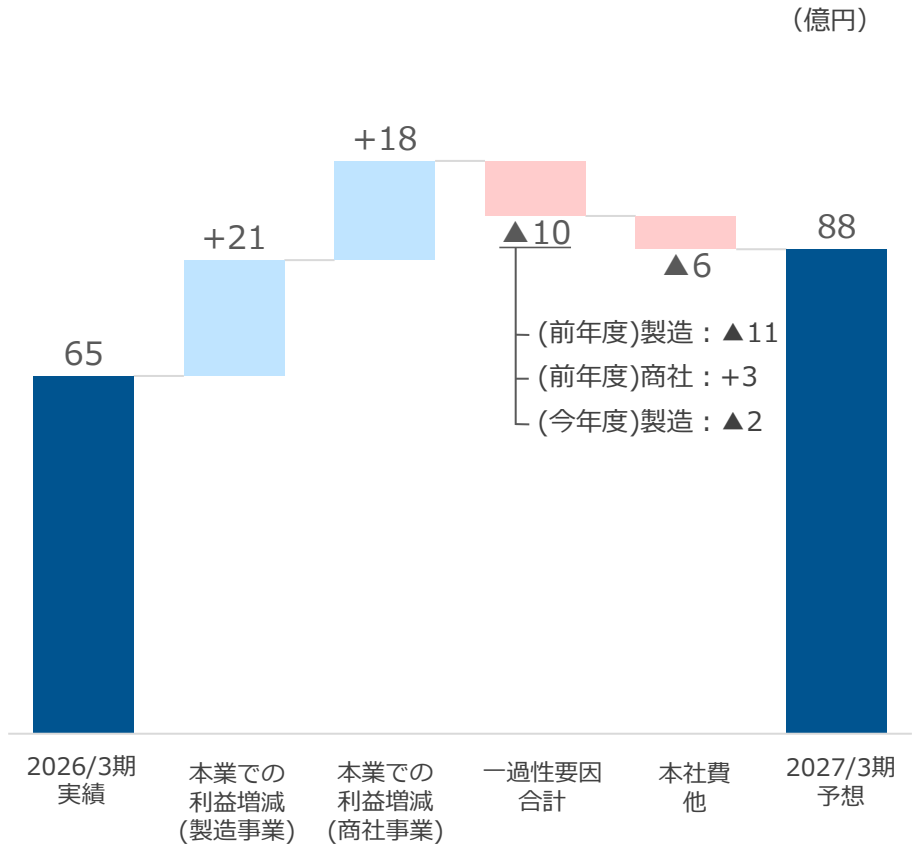
©黒田グループ株式会社　当資料の無断転載・無断利用を禁じます。

2-2　対前年度 営業利益増減要因

セグメント別内訳

単位：億円	売上収益					営業利益(%)				
	2026/3期実績	2027/3期 予想		増減		2026/3期実績	2027/3期 予想		増減	
		前回予想	**今回予想**	前年比	前回予想比		前回予想	**今回予想**	前年比	前回予想比
製造事業	319	348	**410**	+28.4%	+17.7%	45 (14.1%)	45 (12.9%)	**53** **(12.9%)**	+17.8% (▲1.2pp)	+18.3% (±0.0pp)
商社事業	930	929	**1,040**	+11.9%	+11.9%	33 (3.5%)	37 (3.9%)	**53** **(5.1%)**	+63.1% (+1.6pp)	+44.8% (+1.2pp)
調整	▲21	▲27	**▲30**	+42.3%	+11.1%	▲12	▲12	**▲18**	+48.9%	+50.0%
合計	1,228	1,250	**1,420**	+15.6%	+13.6%	65	70	**88**	+34.6%	+25.7%

営業利益変動要因

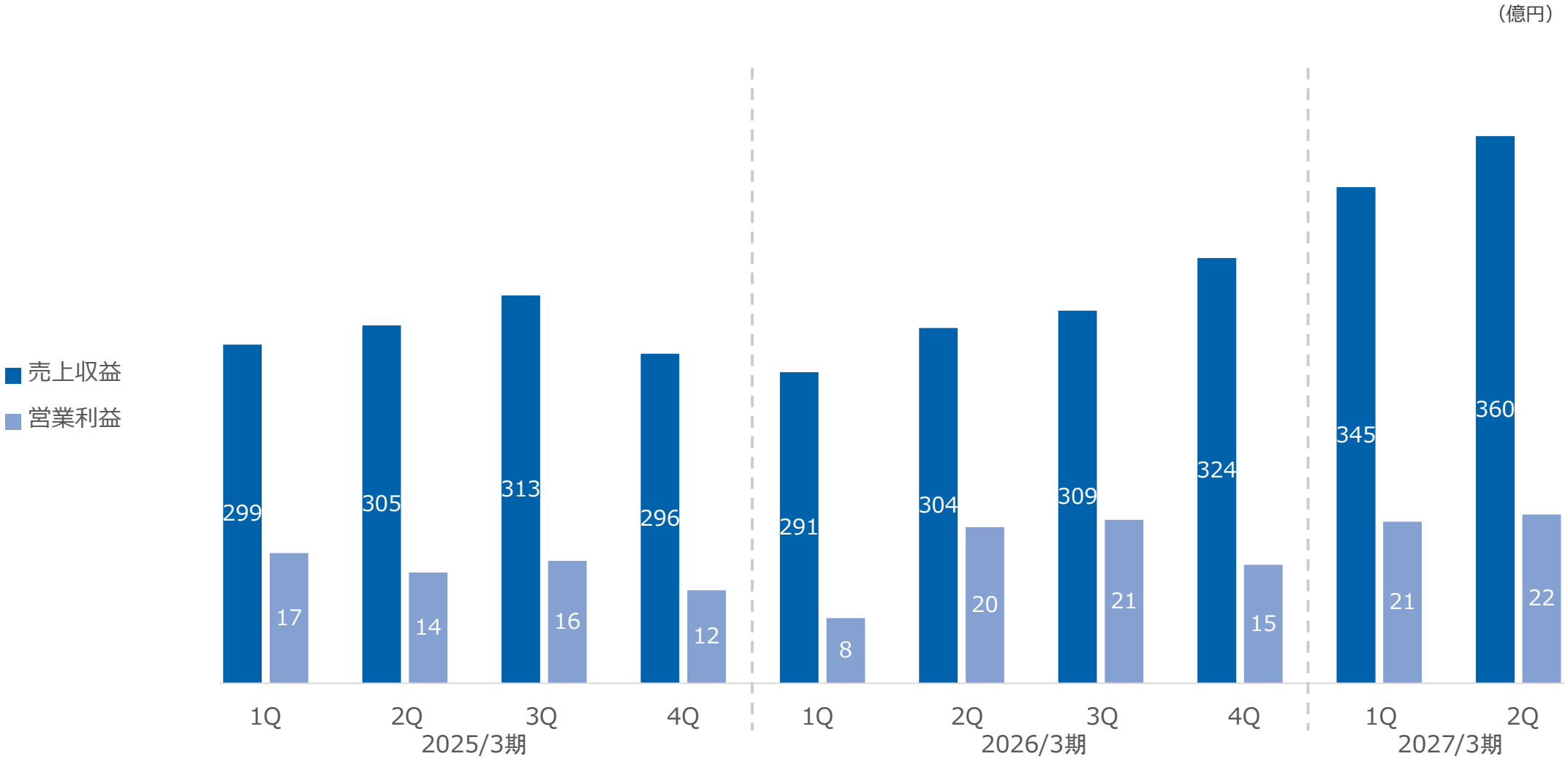


©黒田グループ株式会社　当資料の無断転載・無断利用を禁じます。

Appendix.

©黒田グループ株式会社　当資料の無断転載・無断利用を禁じます。

四半期毎売上収益・営業利益推移（連結）

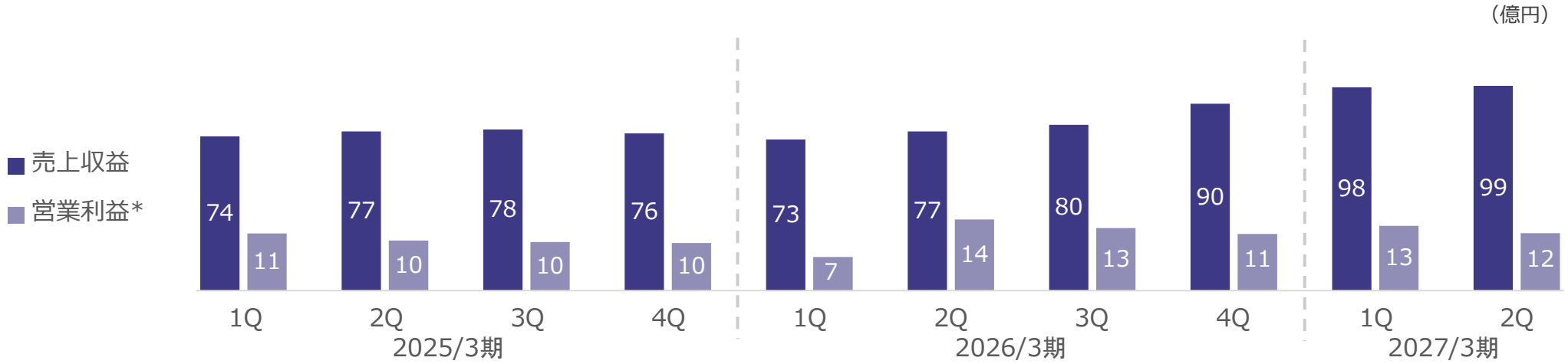


©黒田グループ株式会社　当資料の無断転載・無断利用を禁じます。

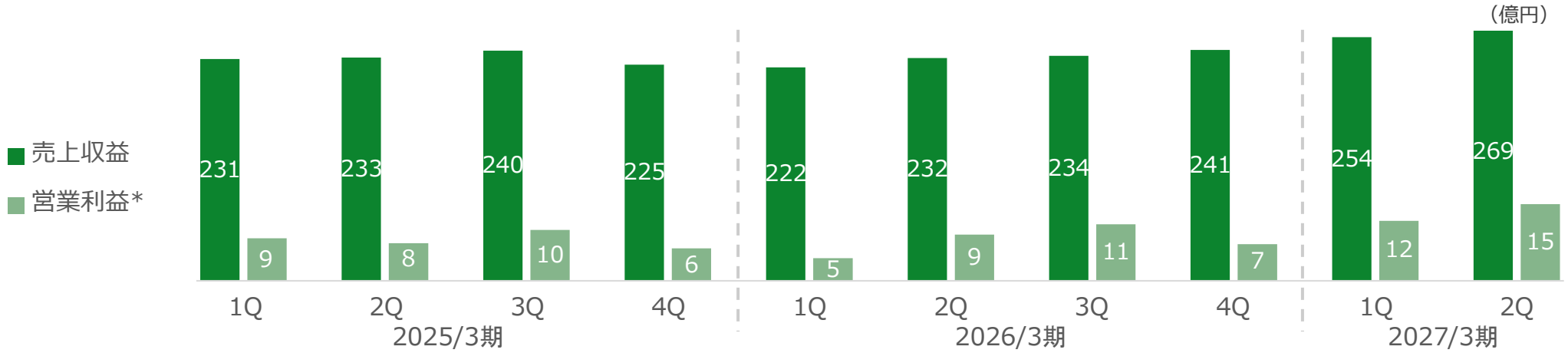
Appendix.

四半期毎売上収益・営業利益推移（事業別）

製造事業



商社事業



*グループ共通損益は含まず

©黒田グループ株式会社　当資料の無断転載・無断利用を禁じます。

End of file.

<免責事項>
本資料における将来予想に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により、これらの将来予想とは異なることがあることをご承知おきください。

©黒田グループ株式会社　当資料の無断転載・無断利用を禁じます。